



神谷まさひろ 活動報告!

コロナブスレポート

vol.63

2017.10

発行:神谷まさひろ事務所
〒448-0028刈谷市桜町3-45
TEL 0566-23-0344
FAX 0566-23-1399

事務長/都築浩介 編集長/榊原直木

朝晩、すっかり涼しくなり秋を感じる季節となりました。爽やかな秋を楽しみ、虫の声に耳を傾けながら秋の夜長を楽しむ。一年の中で最も情緒豊かな季節かも知れません。刈谷市内においても様々な行事やイベントが目白押しです。夏バテを乗り切り、力を蓄え、積極的に活動していきたいと思えます。

事務局次長 篠田佳宗

刈谷市議会9月定例会 一般質問

刈谷市議会9月定例会は9月6日(水)から27日(水)まで22日間の会期で開催されました。冒頭、竹中市長による諸議案の大綱説明が行われた後、一般質問に14名の議員が登壇しました。私も本会議2日目、7日(木)の3番手として登壇しました。質問内容は次の通りです…

質問内容

1 刈谷駅前の整備について

- ① 刈谷駅北地区整備事業について
- ② 刈谷駅前線の整備について
- ③ 送迎バス乗り場について
- ④ みなくる広場について

2 学校への電子黒板・タブレットPCの導入について

- ① 刈谷市としての導入に対する考え方について
- ② 国の意向について

このレポートでは2つ目のテーマ「学校への電子黒板・タブレットPCの導入について」の答弁から、導入に向けた今後の予定についてお知らせします…

「現在全小学校に1台ずつ導入している電子黒板については、各フロアに1台配置できるように2台ずつ増設する。タブレットPCについては、まずは1校あたり約40台を導入する」

「導入の時期は、普通教室への空調設備設置完了後の導入を目標」=空調設備は本年度→中学校、来年度→小学校へ設置の予定で



すから、それ以降と言うことは平成31年度が目標と言うことだと思います。

次頁へ続く

一般質問

その1 傍聴者泣かせ

今回のように、質問の順番が3番手となると、前の質問者の時間配分によってスタート時間が大きく変わってきます。事前には「昼1時からの登壇になるのではないかと予想していたのですが、前の質問者の時間が思っていたより短かったため、午前11時20分からの登壇となり、40分間掛けて1つ目のテーマ「刈谷駅前の整備について」の質問をして午前中は終了。

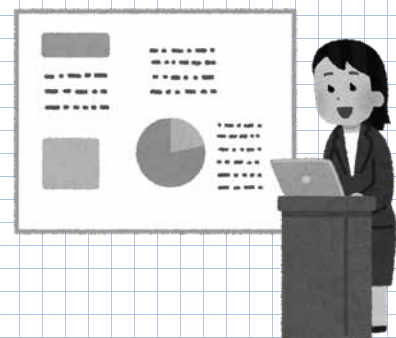
午後1時から再び登壇して2つめのテーマ「学校への電子黒板・タブレットPCの導入について」の質問を行いました。

午後の質問終了後、傍聴席を見ると後援会の役員のSさんの姿がありました。「9月5日のホームページを見て来た」とのことでした。その日のホームページには「一般質問は9月7日(木)午後1時から登壇の予定です」と記載していました。折角来て下さったのに午後からの10分間だけの傍聴で本当に申し訳なかったと思います。

その2 プロジェクター使用可能に

先の6月定例会から一般質問において[書画カメラ→プロジェクターで投影]が許されるようになりました。

写真やグラフなどを使うことによって議論を判り易くすることが出来ます。既に6月定例会では多くの議員が利用していましたが、私も今回初めて利用してみました。刈谷駅北口再開発のイメージパス図と平面図を投影したのです。この質問は、この2つの図を実際に見てもらわないと質問の意図が判らない内容ですから、とても重宝しました。

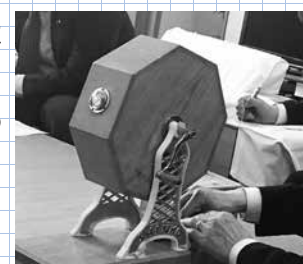


その3 順番はくじ引きで

一般質問の順番を決める方法なのですが、刈谷市議会の場合は写真の(商店街の福引で使うような道具を使って事前に公正に順番を決めています。同じような内容の質問がある場合、後から質問すると二番煎じになってしまいますから、「質問の順番は少しでも早いほうがいい」と私は考えています。

この質問順番の決め方をフェイスブックに掲載したところ、ある市議会の議員さんがこのようにコメントしていました。

『刈谷市議会では一般質問の質問順番をくじ引きで決めていました。このように、全議員が平等としているのは、当たり前のことですが、素晴らしい!で…、わが市議会は? このような抽選会は無く、大会派が一番目にくるなど、会派中心の決め方です。』



この例も含めて刈谷市議会の運営はとても民主的だと思います(感謝)

9月定例会補正予算

このコーナーでは9月定例会補正予算のうち、4つの事業についてお知らせします。

1 つくし作業所を増設します

井ヶ谷町にある障害者の就労継続支援B型事業『つくし作業所』において、定員を10名増やすための増築工事を行います。事業の概要としては①食堂改修工事 約13㎡ ②作業スペース増築工事 約90㎡で、補正予算ではその事業費として3000万円が計上されています。



2 スマートインターチェンジ 周辺道路の新設改良を行います

スマートインターチェンジの整備に合わせた周辺道路整備を行うための ①道路の詳細設計 ②用地測量 の予算として7300万円が計上されています。一方、本体のスマートインターチェンジ整備ですが、今年の7月に実施計画書が策定・提出され、国の方から新規の事業化が認められ、平成34年3月の開通を目指して現在事業が進められています。本体の事業費は約20億円、そのうち刈谷市の負担分は約4億円の予定です。

4 放置自転車の保管場所を 新たに拡充整備します

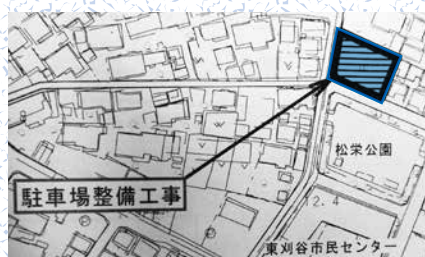
放置自転車への対応は、発見された場所に黄色の警告フダを付けて2週間置いて持ち主の現われるのを待ちます。その後、神田駐車場の東側にある保管場所へ移動して、90日間預かるというルールになっています。ところがその保管場所の収容能力が最大500台程度と限りがあるため、刈谷駅・刈谷市駅・富士松駅と道路上、公園に放置された自転車のみを対象としているのが現状です。

3 東刈谷市民センターに 新たに駐車を整備します

- 事業費 1200万円(舗装・フェンスの整備など)
- 事業の目的 東刈谷市民センターに新規駐車を整備することにより、駐車場不足を解消し、施設利用者の利便性の向上を図ります。
- 事業の概要 ①事業箇所 松栄町2丁目
②工事面積 667㎡
③駐輪場台数 24台(予定)
④土地は賃貸で来年4月から供用開始予定です



そのため、逢妻駅・野田新町駅・東刈谷駅・一ツ木駅・小垣江駅の5駅については、神田保管場に収容しきれない自転車が常時合わせて200～300台程度あり、それらは各駅の駐輪場スペースを利用して保管していますので、結果的に駐輪場スペースが手狭になっている状況なのです。



そこでこの度、現在の保管場より少なくとも1.5倍は収容可能な保管場所を新たに整備することになったものです。補正予算ではその整備事業費として3390万円が計上されています。

Topics

会派名 「市民ファーストの会」に

会派の名称を8月の臨時議会以降、これまでの[自民クラブ]から[市民ファーストの会]に変更しました。

私たち会派のメンバー4名は昨年9月に自民党を離党しました(蜂須賀議員はもっと以前から離党していたのですが)。8月から始まる議会任期の途中であったために会派の名前は[自民クラブ]のままにしておいたのですが、役員改選となる節目の8月10日、[市民ファーストの会]に変更したのです。

会派の名前を考えるに当たり、「今一度政治の原点に立ち返ろう」と言うことになりました。「政治の原点とは何か」…「市民の目線で物事を判断する。市民の声に謙虚に耳を傾ける。市民の福祉増進のために働く。」など「市民を第一に考える」と言うことだと思います。

では「市民を第一に考える会」あるいは「市民第一の会」とするのか…

「スマートではないね」ということになりました。

そこでトランプ大統領以降、小池都知事なども使うようになった「ファーストの表現が良いのではないかと」言うことで「市民ファーストの会」としたのです。つまりこの会派名の理念には、立候補の際に皆さんにお約束した[原点]に立ち返る=市民を第一考えるといったことが含まれているのです。

もちろん都民ファーストの会と連携している訳でもありませんし、小池人気に便乗した訳でもありません。しかし都民ファーストの会の「ファースト」が、都民を第一に考える、都民のための政治を行う という意味が込められているとすれば、その点については理念や考え方は全く同じであると思っています。

この18年間の市議会議員活動の反省点として「選挙の際には『皆さんの声を議会に届けます』とお約束しながら、時に所属している政党の事情を優先させてしまっていたことがあったのではないだろうか」といったことが挙げられます。

そういった反省の下、既に自民党を離党した1年前からそのような姿勢で議会活動に臨んでいましたが、今後は名実共に[市民ファースト]で活動していく所存です。



市民ファーストの会

Topics

会派名変更によりテレビ局からの取材が!

会派名の変更により思いがけないことが起きました。何と、全国ネットの番組が「取材をさせて欲しい」と言って来たのです。

「会派の名前を市民ファーストの会とした理由について、神谷さんがホームページの日記で書いておられるようなことを語って下されば結構ですから」との要望でしたので「選挙のためでも、小池人気に便乗しようとした訳でもない」と言う真意が正確に伝わるのならば、という思いで[あさチャン]「Nスタ」という番組の電話取材と、「News23」のインタビューに応じました。

8月23日(水)夜、CBCテレビのNews23に私が取材を受けている場面が放映されました。

テレビを観た結果は…

非常に残念ですが、真意がうまく伝わっていません。約1時間ほどのインタビューを僅か1~2分で編集するのですから無理もないことかもしれませんが、番組全体が「そうは言っても、小池人気に便乗しようとしたのではないの?」といったイメージでの構成になっていたことは本当に残念です。



ただ、前日放送の[あさチャン]ではコメンテーターの龍崎氏が「わが意を得たり」といった内容のコメントをして下さいました。

龍崎氏「会派や政治団体がどのような名称をつけるかは、その人たちが何を一番大事にしているのかといった政治理念を表すものですから、そこにファーストの文字を使うこと事体、私は否定するものではありません。また、都民ファーストの会だけがファーストを専売特許にすることもおかしな話です。ファーストの名前を付けた方々が小池人気に便乗の意図があるとすれば、その程度のことはいずれ底が割れる話です。大事なものは有権者の方々が『この候補者・団体は正しい政治を行おうとしているのか』一人ひとりが見極めれば良いのであって、あまり目くじらを立てる話ではない」

龍崎氏の言われた通り、わが会派の名前[市民ファーストの会]は正に政治理念を表したものです!

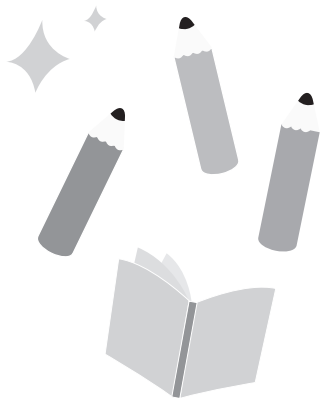
今回のことでよく判りました…

どれだけ意図を熱っぽく語っても、この名前を付けたことだけで、客観的にみれば「小池人気に便乗したのではないか」と思われてしまうのだということが。

真意を伝える唯一の方法は「語る」ことではなく「行動」なのだ!

Topics

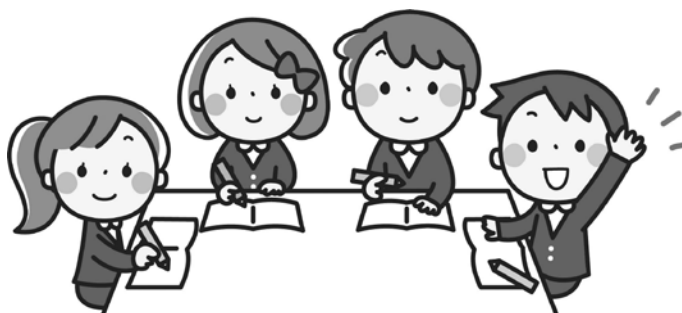
「授業料の公私間格差の是正」 ＝市独自の授業料助成 拡充を



市民文教委員会には市民の皆様より[私学助成の拡充を求める陳情]が全部で3件提出されました。内容的には同趣旨で、それぞれ国・愛知県・刈谷市に対して拡充を求めるものです。国・県に対する陳情は簡易採決により全会一致で採択されたのですが、市に対する陳情は賛成・反対双方の意見が出され、委員による起立採決の結果、賛成・反対両者の数が同数になったため最後は委員長による採決の結果「不採択」となりました。

刈谷市でも独自の授業料助成を行っており、平成20年にはそれまでの年間12000円から18000円に拡充をしました。所得制限なしに助成している自治体の中では最も高額な助成でありますから、反対された方の反対理由はその点にあるのですが、高額と言っても「月額1500円」です。

「授業料の公私間格差の是正」という視点から、もう少し引き上げて良いのではないかと…と言うことで私どもの会派は賛成をしたのですが、残念です(´ω`;))



Topics

待機児童ゼロに向けて 新しい取り組みが始まります！

保育園の入園希望者が多くあり、入園が難しいのは主に0～2歳児です。

そこで…………… 『「0～2歳児は保育園」→「3歳児からは幼稚園」というしくみを作れば、待機児童はかなり解消できるのでは』と以前から考えていました。

そのためには… 「幼稚園の預かり保育時間を拡大すること」と「0～2歳児に特化した保育園を作ること」が必要です。

そして遂に…… 平成30年度から一部の幼稚園・保育園において試行的にそのことを実施することになったのです。

内容は次頁へ

幼稚園における預かり 保育サービスの拡充

(1)概要

幼稚園における預かり保育時間を保育園並みに拡大することで、これまで保育園しか選択できなかった世帯の3～5歳児の受入れを幼稚園でも可能とする。

これにより、保育を必要とする子どもについて、幼保が一体となった受入れ体制を整備することで、将来的な待機児童の解消を図る。なお、平成30年度は3園で試行する。

(2)試行園(3園)

富士松北幼稚園、小高原幼稚園、朝日幼稚園



一部保育園における0歳児 から2歳児の受入れ拡大

(1)概要

一部の保育園を0～2歳児までの保育に特化した乳児型保育園とすることにより、保育需要の高い乳児の受入れ人数を拡大し、待機児童の解消を図る。

(2)対象園(4園)

富士松北保育園、日高保育園(写真)、慈友保育園、双葉保育園

(3)開始時期

平成30年度の新規入園児(0歳児)から、在園は2歳児の年度末までとし、3歳児以降は原則転園とする。

ただし、平成30年度に1歳児以上である児童については、就学前まで在園できる→つまり、既に在籍している児童や来年度1歳児以上で入園する児童は、2歳児年度末で転園する必要がありませんので、[0～2歳児までの保育に特化した乳児型保育園]として完成するのは平成35年度ということになります。

区分		平成29年度(現行)		平成30年度(試行)	
時 間	通常	半日	保育終了後～午後4時30分	早朝	午前7時30分～午前8時40分
				半日	保育終了後～午後4時30分
				延長	午後4時30分～午後6時30分
長期休業(夏休み等)		半日	午前8時40分～午後0時30分 午後0時30分～午後4時30分	早朝	午前7時30分～午前8時40分
		全日	午前8時40分～午後4時30分	半日	午前8時40分～午後0時30分 午後0時30分～午後4時30分
				延長	午後4時30分～午後6時30分
利用料	半日	200円		早朝	200円
	全日	400円		半日	200円
				延長	200円
給食	長期休業中は弁当持参			長期休業中も給食	

備考 薄い青色部分は、変更箇所を表す。

竹中市長に予算要望書を提出

9月20日(水)、会派メンバー4名で竹中市長に『平成30年度予算・施策に関する要望書』を提出しました。今回は全部で71項目です。

昨年提出した中から、[刈谷駅北口の再開発を推進すること][地域ねこ対策を実施すること(不妊・去勢手術への補助など)][ハイウェイオアシスにスマートインターチェンジを設置すること]など「実現したもの」や「実現に向けた道筋が見えた」と判断したものは省いて、新たな項目として…

- ◎普通財産としての市有地の有効活用を図ること
- ◎路上喫煙禁止条例を制定すること
- ◎刈谷駅北口送迎用バス乗り場を拡充すること
- ◎刈谷駅前線工事のスピードアップを図ること
- ◎今川刈谷停車場線の歩道を拡幅すること
- ◎公園トイレの洋式化を進めること
- ◎刈谷駅前喫煙所を拡大整備すること
- ◎刈谷球場を移転新設すること
- ◎小中学校へ電子黒板・タブレットPCを導入すること
- ◎図書館の開館時間を延長すること
- ◎総合文化センターの予約に際し市民へのアドバンテージを与えること

の11項目を追加しました。そして市長さんとの話し合いの中では、昨年要望した項目「刈谷を舞台とした大河ドラマの誘致を進めること」についても再度強く要望しました。主人公はもちろん「於大の方」あるいは「水野勝成」、シティーセールスという意味では、これが実現すると凄いですよね!!

今後、これらの実現に向けて本会議や委員会など議会の中でも要望して参ります。

